

表4-5 継続監視調査結果

(平成23年3月31日現在)

地区名	汚染物質 (環境基準)	汚染発見 年月	22年度 調査結果 (年平均値)	これまでの調査による濃度変化		
				最高検出 濃度 A(mg/L)	最高濃度検出 井戸での最近 2年間平均値 B(mg/L)	B/A ×100 (%)
1 福井市麻生津	砒素 ^{注2} (0.01mg/L)	16年 6月	0.022	0.033	0.016	—
2 越前市塚町・三ツ屋町		12年 6月	0.019	0.031	0.018	—
3 若狭町東部		9年12月	0.019	0.15	0.021	—
4 高浜町菌部		2年11月	0.024	0.039	0.028	—
5 越前市長尾町・戸谷町		12年 6月	0.013	0.014	0.011	—
6 永平寺町光明寺	1,2-ジクロロエタン (0.004mg/L)	12年 5月	<0.0004 ^{*1}	0.015	<0.0004 ^{*2}	—
7 小浜市駅前町 ^{注1}	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	20年3月	0.010 ^{*1}	0.022 ^{注3}	— ^{注4}	—
8 福井市石橋町 ^{注1}	トリクロロエチレン (0.03mg/L)	10年 9月	0.004 ^{*1}	0.017	0.003 ^{*2}	18
9 越前市吉野		1年11月	0.050	0.11	0.048	44
10 越前市大虫		2年 2月	0.024 ^{*1}	0.12	0.025 ^{*2}	21
11 越前市米口町		10年 9月	0.014 ^{*1}	0.17	0.012 ^{*2}	7
12 鯖江市豊		2年 6月	0.030 ^{*1}	0.064	0.031	48
13 鯖江市神明南部		4年 5月	0.14	0.37	0.13	35
14 鯖江市立待南部		7年10月	0.017 ^{*1}	0.054	0.018 ^{*2}	33
15 鯖江市立待北部		8年 5月	0.031	0.12	0.031	26
16 鯖江市上河内町		8年 6月	0.006 ^{*1}	0.31	0.006 ^{*2}	2
17 鯖江市立待西部		8年10月	0.032	0.16	0.032	20
18 越前町小菅原1区 ^{注1}		10年 9月	<0.002 ^{*1}	<0.002	<0.002 ^{*2}	—
19 越前町小菅原3区 ^{注1}		10年 9月	<0.002 ^{*1}	<0.002	<0.002 ^{*2}	—
20 福井市新田塚 ^{注1}		19年11月	0.0019 ^{*1}	0.049	0.0022 ^{*2}	4
21 福井市美山町		19年 4月	0.012	0.019	0.011	58
22 敦賀市布田町		11年 5月	0.0092 ^{*1}	0.021	0.0082 ^{*2}	39
23 越前市北府		1年11月	0.016	0.030	0.013	43
24 大野市新町		1年12月	0.0074 ^{*1}	0.065	0.010 ^{*2}	15
25 勝山市滝波町		8年 5月	0.0033 ^{*1}	0.024	0.0034 ^{*2}	14
26 鯖江市本町		5年 4月	0.091	0.38	0.086	23
27 鯖江市横越町	7年 5月	0.0018 ^{*1}	0.017	0.0018 ^{*2}	11	
28 永平寺町牧福島	4年 5月	<0.0005 ^{*1}	0.087	<0.0005 ^{*2}	—	
29 高浜町立石	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/L)	15年 5月	24	48	22	46
30 福井市蒲生	15年 5月	3.5 ^{*1}	11	4.1 ^{*2}	37	
31 鯖江市水落	六価クロム(0.05mg/L)	12年 8月	0.19	0.54	0.19	35
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/L)	15年 5月	9.7 ^{*1}	28	7.7 ^{*2}	28
32 高浜町東三松	砒素 ^{注2} (0.01mg/L)	12年 6月	0.007 ^{*1}	0.032	0.008 ^{*2}	—
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/L)	12年 8月	17	51	17	33
33 鯖江市立待東部	1,1-ジクロロエチレン (0.1mg/L)	7年12月	0.023 ^{*1}	0.13	0.036 ^{*2}	28
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)		0.006 ^{*1}	0.099	0.007 ^{*2}	7
34 越前市王子保	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	6年11月	0.042	0.097 ^{注3}	— ^{注4}	—
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)	2年 7月	0.003 ^{*1}	0.11	0.004 ^{*2}	4
35 越前市家久町	砒素 ^{注2} (0.01mg/L)	19年 4月	0.007 ^{*1}	0.018	0.009 ^{*2}	—
	総水銀(0.0005mg/L)		0.032	0.033	0.020	60
	ベンゼン(0.01mg/L)		0.10	0.11	0.10	91
	塩化ビニルモノマー (0.002mg/L)	21年12月	0.027	0.032	—	—
	1,4-ジニトロベンゼン(0.05mg/L)		0.007 ^{*1}	0.008	—	—
36 鯖江市助生田町	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	11年10月	0.024 ^{*1}	0.073 ^{注3}	— ^{注4}	—
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)		0.019 ^{*1}	0.11	0.018 ^{*2}	16

注1 環境基準の超過が、1井戸に限定された地区。

注2 砒素による地下水汚染の原因は、いずれも自然由来と考えられます。

注3 1,2-ジクロロエチレンは、平成21年以前に測定を実施したのものについては、シス体のみの値を記載しています。

注4 平成22年度から報告下限値変更のため、2年間平均値は次年度から算出します。

*1は、平成22年度の年平均値が、*2は、最近2年間の平均値が環境基準以下になったことを示します。